

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	コミュニティワーク演習（Skills Training for Community Work Pract）		
ナンバリングコード	E30935	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 応用レベル 社会福祉
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 通年
必修・選択区分	コース必修:こども・福祉コース 選択:地域マネジメントコース、Bソリューションコース、会計ファイナンスコース、スポーツビジネスコース コース選択必修:情報メディア学科 情報コミュコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E045601	クラス名	-
担当教員名	鍋田 耕作		
履修上の注意、履修条件	こども・福祉マネジメントコースのコース必修科目です。必ず履修してください。 ※原則として、コミュニティワーク演習とコミュニティワーク実習との合同演習のため、該当年次のみ受講可能となります。 ・グループワークを中心に行いますので、他のメンバーに迷惑をかけないよう無遅刻・無欠席を心がけてください。 ・グループワーク時は、ディスカッションや作業等に積極的に取り組むことを心がけてください。		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	授業中に指定します。		
関連科目	地域福祉論・児童福祉論・高齢者福祉論・相談援助の基盤と専門職A・社会調査法・社会福祉援助技術演習Ⅰ・Ⅱなど。		

○基本情報		
授業の目的	こども・福祉マネジメントコースでは、経済や経営の知識をベースに、「子ども」「高齢者」「障がい者」など福祉に関する幅広い視点から専門知識やスキルを習得するためには、地域社会が抱える多種多様な課題を知り、体験交流活動で実感し、その課題解決に向けた必要な知識の修得、そして実際にステークホルダーとの協働による課題解決型学修を実施している。そこで、本科目は、地域での体験交流活動を中心に、直接、当事者と関わることで、様々な福祉分野の問題点を知り、その解決に向けての取組みの方法を学ぶとともに基礎的な知識・技術を身につける。	
授業の概要	この演習やこども・福祉マネジメントコースのCOC事業を通して、地域の抱えている問題点や対象者の抱えている課題などを学ぶ。それから、PBLを通して、地域実情に応じて異なる課題を把握・整理し、その解決方法(必要なもの)を検討する、ステークホルダーとの協働活動を体験し、実践方法などについても学ぶ。※外部講師による講演に変更になる場合があります。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	「PBL(課題解決型学習)」
地域志向科目	カテゴリーⅠ:ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当なし	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	グループ活動に積極的に参加し、グループ活動での役割を意識し行動することができ、自分の行動を振り返り、改善することができる。		10点	30点
【知識・理解】	地域における様々な福祉分野の課題解決に向けて、専門的な知識を活用することができる。		30点	
【技能・表現・コミュニケーション】	参加者を活動に巻き込み(働きかけ力)、企画を立案し、それを伝えることができる。(実行力)。			10点
【思考・判断・創造】	グループ内での意見を聴き(傾聴力)、その内容をまとめることができる。		10点	10点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
リアクションペーパー等の提出物をもとに総合的に判断します。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。[Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。[Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 講義・グループ活動への参加をもとに総合的に判断します。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。[Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。[Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部満たしている。

○その他
・本科目は、こども・福祉マネジメントコース所属学生のみ履修を認めます。 ※科目の性質上、他のコースの学生が履修することはできません。 ・本科目は、原則、「家族援助論」(2年次)及び「コミュニティワーク演習」(3年次)履修した学生のみ履修を認めます。

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	コミュニティワーク演習（Skills Training for Community Work P 鍋田 耕作	授業コード	E045601
学修内容				
1. オリエンテーション 本授業の意義、目的の説明・社会人基礎力について 子ども・福祉マネジメントコースの目指す人材像について ※社会人基礎力の調査				
予習		シラバスで授業計画等の確認をする。	約1時間	
復習		本授業の意義、目的等内容整理	約1時間	
2. 地域社会をフィールドとして学ぶ意義 こども・福祉マネジメントコースで取組むCOC事業の意味 地域の実情を踏まえて活動を実施する意義など				
予習		COC事業の目的等について（調べ学習）	約1時間	
復習		地域の実情に合わせた取組みについて内容整理	約1時間	
3. 多学年合同で学ぶ意義・PBL学修に向けての取組み① グループ活動等を通して、他学年の専門的知識や社会人基礎力等について学ぶ。 地域診断に向けての基礎知識「地域共生社会とは何か」				
予習		地域共生社会について（調べ学習）	約1時間	
復習		地域共生社会の内容等の整理	約1時間	
4. PBL学修に向けての取組み② 地域診断に向けての基礎知識「地域共生社会に向けての取り組み」				
予習		地域共生社会に向けた先進的な事例について（調べ学習）	約1時間	
復習		地域共生社会に向けた取り組みについての内容整理	約1時間	
5. PBL学修に向けての取組み③ 地域診断に向けての基礎知識「地域生活課題とは何か」				
予習		地域生活課題について（調べ学習）	約1時間	
復習		地域生活課題の内容等の整理	約1時間	
6. PBL学修に向けての取組み④ 地域診断に向けての基礎知識「地域生活課題の解決に向けた取り組み」				
予習		地域生活課題の解決に向けた先進的な事例について（調べ学習）	約1時間	
復習		地域生活課題の解決に向けた取り組みについての内容整理	約1時間	
7. PBL学修に向けての取組み⑤ 地域診断の実践①（地域の現状分析）				
予習		実践地域の情報収集	約1時間	
復習		地域診断の内容等の整理	約1時間	
8. PBL学修に向けての取組み⑥ 地域診断の実践②（地域生活課題の抽出）				
予習		実践地域の情報収集	約1時間	
復習		地域診断の内容等の整理	約1時間	

○授業計画	科 目 名 担当教員	コミュニティワーク演習（Skills Training for Community Work P 鍋田 耕作	授業コード	E045601
学修内容				
9. PBL学修に向けての取組み⑦ 地域診断の実践③（地域課題に対する支援（機関・施設・制度など））				
予習		実践地域の支援機関等の情報収集	約1時間	
復習		支援機関等の内容の整理	約1時間	
10. PBL学修に向けての取組み⑧ 地域診断の実践④（地域診断の整理（PP作成等））				
予習		報告に向けての内容等整理	約1時間	
復習		報告に向けての原稿等の作成	約1時間	
11. PBL学修に向けての取組み⑨ 地域診断の実践⑤（地域診断の整理（PP作成等））				
予習		報告に向けての原稿等の作成	約1時間	
復習		報告に向けて原稿読み等	約1時間	
12. PBL学修に向けての取組み⑩ 地域診断の実践⑥（報告会（地域診断の結果の共有））				
予習		報告に向けて原稿等の修正	約1時間	
復習		他のチームの報告内容等のまとめ	約1時間	
13. PBL1ー① 報告会振り返り・地域課題の再整理・地域課題解決に向けた施設・機関（事前学習）				
予習		地域を拠点とする施設・機関の情報収集	約1時間	
復習		施設・機関についての内容整理	約1時間	
14. PBL1ー② 地域課題解決に向けた施設・機関（体験交流活動に向けた事前指導及びインタビュー内容等の作成）				
予習		インタビュー等の内容の検討	約1時間	
復習		施設・機関の役割確認等	約1時間	
15. PBL1ー③ 地域課題解決に向けた施設・機関（体験交流活動）※夏季休業中に実施する場合もある。				
予習		前期の活動の振り返り	約1時間	
復習		施設・機関のインタビュー等のまとめ	約1時間	
16. PBL1ー④ 体験交流活動の振り返り・インタビュー内容等の整理				
予習		施設・機関のインタビュー等のまとめ	約1時間	
復習		施設・機関の課題整理	約1時間	

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名 担当教員	コミュニティワーク演習（Skills Training for Community Work P	授業コード	E045601
鍋田 耕作					
学修内容					
17. PBL(フィールドワーク①・体験活動)					
対象者ごとの地域活動に参加し、ともに活動を行う。					
予習	担当の対象者の地域活動を調べ、インタビュー内容をまとめる。				約1時間
復習	ステークホルダーへのインタビューを自分なりにまとめる。				約1時間
18. PBL(フィールドワーク②・ステークホルダーへのインタビュー)					
チームごとにステークホルダーへのインタビューを行い、地域活動の現状や問題点を洗い出す。					
予習	担当の対象者の地域活動を調べ、インタビュー内容をまとめる。				約1時間
復習	ステークホルダーへのインタビューを自分なりにまとめる。				約1時間
19. PBL(課題整理)					
これまで調べた地域活動の内容とともに、体験活動時の参加者の状況、インタビューを基に、課題整理を行う。					
予習	対象者の地域活動の先進的事例等を調べる。				約1時間
復習	グループで出された先進的事例等をまとめる。				約1時間
20. PBL(情報収集)					
課題解決に向けての具体的な検討を行うため、先進的事例等の情報を収集する。					
予習	対象者の地域活動の先進的事例等を調べる。				約1時間
復習	グループで出された先進的事例等をまとめる。				約1時間
21. PBL(解決案検討・発表準備)					
グループで実現可能な解決策等の検討を行い、ステークホルダーに対する発表の準備を行う。					
予習	実現可能な解決策等を自分なりの考えをまとめる。				約1時間
復習	ステークホルダーとの協働活動で必要な内容等を整理する				約1時間
22. PBL(発表・ステークホルダーとの打ち合わせ)					
ステークホルダーへの活動の提案型での発表を行い、ステークホルダーとの協働活動に向けた打ち合わせを行う。					
予習	実現可能な解決策等を自分なりの考えをまとめる。				約1時間
復習	ステークホルダーとの協働活動で必要な内容等を整理する				約1時間
23. ステークホルダーとの協働活動・準備①(企画立案・チラシ等作成)					
PBLで決定した企画の内容を検討し、企画書を作成する。また必要に応じて、チラシ等の作成を行う。					
※社会人基礎力の調査					
予習	企画書作成に向けて、必要事項等をまとめる。				約1時間
復習	協働活動に向けて、必要物品等を整理する。				約1時間
24. ステークホルダーとの協働活動・準備②(内容等詳細決定)					
PBLで決定した企画の内容等の詳細を決定し、当日の流れや必要物品等の準備を行う。					
予習	企画書作成に向けて、必要事項等をまとめる。				約1時間
復習	協働活動に向けて、必要物品等を整理する。				約1時間

○授業計画		科 目 名 担当教員	コミュニティワーク演習（Skills Training for Community Work P 鍋田 耕作	授業コード	E045601
学修内容					
25. ステークホルダーとの協働活動・準備③(必要物品等準備)					
PBLで決定した企画に合わせて、必要物品等の準備を行う。					
予習		必要事項(当日の流れや必要物品等)に応じて準備する			約1時間
復習		ロールプレイでの変更点、企画の全体的なスケジュール等をまとめる。			約1時間
26. ステークホルダーとの協働活動・準備④(ロールプレイ)					
企画運営に関するロールプレイを学内で実践する。ロールプレイでの変更点等をまとめるとともに、当日のスケジュール・役割等の確認を行う。					
予習		必要事項(当日の流れや必要物品等)に応じて準備する			約1時間
復習		ロールプレイでの変更点、企画の全体的なスケジュール等をまとめる。			約1時間
27. ステークホルダーとの協働活動・実践打ち合わせ					
協働活動に向けて、ステークホルダーとの実践前の打ち合わせ(企画書に基づいて、当日の流れ、役割の確認等)を行う。					
予習		協働活動に向けて、企画書、役割、当日の流れ等を確認する。			約1時間
復習		事前打ち合わせで話し合った内容・注意点・変更点を確認する			約1時間
28. ステークホルダーとの協働活動・実践①					
ステークホルダーとの協働活動を実践する。					
予習		最終打ち合わせを実施する			約1時間
復習		協働活動実践後、ステークホルダーとの振り返りを通して、各自、振り返りシートをまとめる。			約1時間
29. ステークホルダーとの協働活動・実践②・振り返り					
活動の実施後、ステークホルダーとともに振り返りを行う。					
予習		最終打ち合わせを実施する			約1時間
復習		協働活動実践後、ステークホルダーとの振り返りを通して、各自、振り返りシートをまとめる。			約1時間
30. PBL・協働活動(振り返り)					
PBL・協働活動の企画立案・運営実施・役割分担等での問題点・改善点等を振り返る。					
※社会人基礎力の調査					
予習		これまでの活動内容について整理をする。			約1時間
復習					約1時間
31.					
予習					
復習					
32. 0					
予習					
復習					